



# 関中央ロータリークラブ

## 2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2

事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278

会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになるう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1969回例会 2019年3月7日(木)

卓話 関市長 尾関 健治 様 テーマ 「未定」 / 担当 出席委員会

前例会の記録 第1968回 2019年2月28日(木)

会員卓話 尾崎 将之君

テーマ 「あなたの知らない麻酔科医の生態」

担当 ニコボックス委員会

\*ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

\*会長あいさつ 波多野篤志会長

皆さんこんばんは。本日は会員卓話と成っています。尾崎将之会員の卓話で、「あなたの知らない麻酔科医の生態」と言うお話です。大変興味深い内容ですので、よろしくお願いします。



さて、今日で2月も終わりで、明日からは3月に入ります。早いもので、今年度に入ってから、もう2か月が過ぎました。今年度は、いのしし年です。私は、猪と言えども豚コレラを思い出してしまいます。わたくしの本業であります建設業界では、前年度の末から豚コレラの対応で大変苦労させられましたので、少しお話をしたいと思います。

昨年この地区では、2回の豚コレラ処理をしました。1回目は、12月11,12日に関市東志摩のシシイヌ訓練所という、猪を追うための犬を訓練する施設です。23頭の猪がいましたが、1頭が豚コレラで死亡しましたので、後の22頭も殺処分をし、埋設処理することになりました。2回目は、12月25日から28日にかけて、肥田瀬の養豚場で、8千頭の豚の埋却処分をしました。大々的にテレビで報道されましたので、皆さんもご存知かと思いますが、自衛隊100名程と県職員100名程、8時間3交代で殺処分をされました。私たち建設業者は、殺処分された豚を運搬し、穴を掘って埋設処理をしました。私たちは、人数も限られていましたので、12時間2交代で、90時間連続で作業を行いました。この作業は、自衛隊は行いませんので作業員の確保に苦労しました。はじめは、1月3日までに終わるように計画されましたが、早からの自衛隊への要請と獣医の確保により予定より早く終わったので良かったです。おかげさまで、豚コレラは、人への感染の心配がないので、防護服は着用しましたが、それほど制約は有りませんでした。

それと夏ではありませんので暑さ対策はならず、夜の寒さ対策と感染対策の石灰の散布が大変な作業でした。現在では、岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、大阪府で豚コレラの発生が確認されています。豚コレラは、豚やいのししの病気であって人に感染することはなく、仮に豚コレラにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はないということです。しかし、現在に至っても、感染ルートの解明が来ていません。又、有効な対応策も打っていない状況です。この様なことで、この時期よく話題になりますインフルエンザなどの感染症が世界的に広がりを見せた時などは、本当に大丈夫なのかなと思います。いのしし年に、豚や猪の病気が流行ることに何か不安と違和感を覚えます。又、いのしし年は、大きな災害のある年、特に地震の多い年と言われますが、この地区では去年にいろんな災害が、重なって起きていますので、今年は、穏やかな年に成ってほしいものです。

話は変わりますが、本日国際ロータリー日本事務局よりロータリー財団寄付に対する認証品が届いております。寄付金額に応じて、認証品が違います。寄付額が、1000ドルに達した方に認証状と襟ピン。2000ドルに達した方は襟ピンにサファイアの粒が1粒、3000ドルに達した方は2粒付いているそうです。1000ドルに達した方が2名。2000ドルに達した方が9名。3000ドルに達した方が9名、総勢20名の方が表彰されました。多額の寄付をして頂きまして、ありがとうございました。

**\*ロータリー財団寄付に対する認証状及び認証品授与**



**☆PHF (ポール・ハリス・フェロー) 2名**

石原妙生君、藤村伸隆君

**☆PHF+1 9名**

喜久生明男君、西田健一君、田中静夫君、波多野好文君、山本義樹君、桜井秀義君、神谷秀幸君、古田博文君、伊佐地金嗣君

**☆PHF+2 9名**

小川糧司君、佐藤忍君、広瀬恒行君、川上勉君、高井良祐君、山田文夫君、波多野源司君、前田仁夫君、古田育則君

**\*会員卓話 尾崎将之君**



テーマ「あなたの知らない

**麻酔科医の生態」**

**麻酔科医の生態**

約10年前に麻酔科医不足が特に問題となった時期がありました。医師養成の仕組みが変わったことが影響し、中堅の麻酔科医に業務が集中してしまったことから疲弊した麻酔科医が次々に退職するということが全国的に見うけられました。この話を聞かれて腑に落ちない印象を持たれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？麻酔ってそんなに忙しいの？不足するほどの仕事量があるの？同じ医療職間でさえ、麻酔という業務の内容が理解されていないこともあります。麻酔科医はどのような業務を担っているのでしょうか？

**麻酔科医の業務は麻酔に非ず**

外科医の業務は外科手術ですが麻酔科医の業務は「麻酔」という言葉のもつ印象とはいささか異なります。もともと麻酔は手術をする外科医に担われていた時代がありました。その頃は麻酔に関連した死亡も現代を比べると多く発生していました。麻酔を行うと呼吸や循環に様々な影響をもたらします。そこを十分にフォローせずに手術を始めてしまい、手術中に致命的な事態に至ることが多かったのです。戦後日本の外科医が米国での外科医療に接するようになりました。そこで外科手術と、呼吸や血圧を適正な状態に維持する生体管理＝麻酔との完全分業による驚異的な手術成功率の実現を目の当たりにします。その後日本でも麻酔科が独立した診療科として生まれました。手術をうけても致命的にならないよ

うなるべく安全に、また痛くないようにいろいろと手を尽くすのが麻酔科医の仕事です。また、外科医が手術に集中できる環境を整えるのも麻酔科医の重要な仕事です。

### 全身麻酔の流れ

全身麻酔では手術が安全に遂行できるように、意識をなくし、動かなくする状態を作り出します。患者さんが手術室に入室されたらまず心電図や血圧計を装着し、点滴ルートを確認します。次に酸素マスクを当てて十分に酸素を吸っていただきます。麻酔薬は点滴ルートから直接血流に入っていきますので、直ぐに眠ってしまいます。筋肉の動きも止まるため、意識がなくなるだけでなく呼吸も止まってしまいます。そのままでは酸素が体内に入っていきますので人工呼吸器で肺に酸素を送り込むようにします。口から気管へ気管チューブというチューブを挿入し、人工呼吸器に接続します。

手術中は血圧、心拍数、体内の酸素量、尿量、出血量などを観察し、患者さんの全身状態を管理します。全身麻酔は離陸、巡航、着陸に似た節目があり飛行機の運行によく例えられます。場合によっては乱気流に遭遇したりエンジントラブルが発生したりといったことに遭遇します。その都度トラブルシューティングを行い安定化を図ります。

手術が終了したら麻酔薬を停止し、覚醒へ向かいます。ここが着陸に相当します。ご自分で呼吸がしっかりできるようになったら気管へ挿入していたチューブを抜去し、血圧、心拍数、体内の酸素量が十分かどうか観察し、問題なければ手術室から退室します。

### 麻酔科医と医療安全

麻酔科医が担う業務を一言であらわすとすると手術の安全管理と言えらると思います。近年医療安全という言葉がよく使われます。特に手術は潜在的に危険が伴うので専属の安全管理担当=麻酔科医において、事故を回避しましょうという考えが一般的になって来ました。

#### \*出席委員会

会員数 32 名、本日の出席 20 名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

本日の卓話、尾崎将之会員よりよろしくお願い致します。  
20 名のご投函ありがとうございました。

#### <次例会の案内>

第 1970 回 2019 年 3 月 14 日 (木)

卓 話 (株)BON DABON CEO  
ペルシュウ職人 多田 昌豊様

テーマ 「なぜ関なのか」

担 当 親睦活動委員会